

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・20	・事業所自体は地域に開かれているが、ホームで暮らすおとしよりが、地域の住民として考えると、まだなりえていない。	・おとしよりが、地域になじみ、共に暮らす住民となる。	・日常的に散歩やお店などを利用する中で、おとしよりが主体となり関われるよう、繋いでいく。 ・地域の方にお会いした時は必ず挨拶をする。 ・地域のサロンや、行事に積極的に参加する。	12ヶ月
2	26	・スタッフ同士が、ケアの中での喜びや悲しみを共有できておらず、チームケアの土台ができていない。	・小さな喜びや、変化を共有し、共に喜びあえる場面が増える。そして、笑顔や笑い声にあふれるようになる。	・リーダーが中心となり、日々の出来事を伝えていく。共有した喜びや、実践を一人一人が取り入れさらなる実践へと活かしていく。 ・会話記録をしっかりと読み、共有する。	12ヶ月
3	18・38	・おとしよりの生活を奪っていないか見つめ直す。	・おとしよりが、より自分らしく、わがままに暮らすことができるように。	・様々な生活場面での、習慣、くせ、こだわりなどを知り、個々に対してどのように関わり、暮らしてもらいたいかの目標をたてられるようにする。 ・限られた時間の中でも、関われるように意識と工夫をする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。